

## 設立50周年記念式典を開催

## 木曽川右岸地帯水防事務組合

10月27日、木曽川右岸地帯水防事務組合（管理者 広江正明笠松町長）設立50周年記念式典が、中央公民館で開催されました。

木曽川右岸地帯水防事務組合は、前身の笠松以東木曽川堤防水害予防組合を中心とし、羽島中部水害予防組合、加納輪中水害予防組合の一部が加わり、昭和37年に設立され、50周年を迎えました。現在は、笠松町をはじめ、岐阜市・各務原市・岐南町で構成し、15団の団員が、日々の水防技術の練磨と心身の鍛錬に励んでいます。



水防団員に式辞を述べる広江町長（管理者）

また、40年以上水防団の活動に貢献された次の方に、特別表彰が行われました。

**【特別表彰】**（当町関係分・敬称略）  
米野水防団元団長 森 秀弘（44年9か月在団）  
円城寺水防団元班長 六鹿 又一（43年在団）  
円城寺水防団元班長 岩田 勝之（41年在団）

## 日ごろの訓練の成果を発揮

## 第7回水防工法競技大会

11月10日、木曽川右岸地帯水防事務組合主催の第7回水防工法競技大会が、笠松競馬場西駐車場で開催されました。

この大会は、水防団員の士気高揚、洪水時の即応の作業向上、水防体制の万全、区域住民の水防に対する理解と協力を得ることを目的で行われました。

笠松町をはじめ、岐阜市・各務原市・岐南町の15水防団が参加し、積土のう工法には7団が、月の輪工法には8団が日ごろの訓練の成果を競いました。

当町の成績は次のとおりです。

**月の輪工法の部 優勝 円城寺水防団**



半月状に土のうを積み、砂を詰め踏み固める（月の輪工法）水防団員

## 力作を展示

## 第43回笠松町美術展

第43回笠松町美術展が11月2日から4日までの3日間、中央公民館で開催されました。

2日には、オープニングセレモニーが行われ、たくさんの方が会場に詰めかけました。

日本画、水墨画、洋画、版画、書、彫塑・工芸、写真の各部門に301人から392点の作品が出品され、3日間で町内外から1,218人の参観者が来場し、各部門の力作に見入っていました。

また、企画運営委員の皆さんによるチャリティ小品展も開催され、その売上金の一部は町社会福祉協議会に寄付されました。



作品を鑑賞する皆さん